

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	41500	生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	2		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	1	保健衛生費	基本施策	2	生活環境	実施計画事業	生活環境保全事業
	2172			目	5	生活環境費		施策	3		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・公害の発生防止と、公害が発生した場合は被害を最小限に食い止める	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。</li> <li>騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査の実施と、騒音の定期観測調査の実施。</li> <li>高山市快適環境づくり市民会議の運営を行う。</li> <li>ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発を行う。</li> </ul>
	対象者数	91,605 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施と騒音の観測調査の実施</li> <li>水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の啓発</li> <li>マイマイガの生態を把握し、市民に周知するとともに、市有施設に付着した卵塊の駆除を実施。</li> <li>高山市快適環境づくり市民会議の開催(グリーンマーケット、クリーン作戦等の実施)</li> </ul>						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	水質調査地点数	箇所	目標値	19	19	19	19
				実績(見込)	19	19	19	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発/パトロールの実施	回	目標値	135	198	70	70
				実績(見込)	135	197	20	
	算出根拠等			達成率(%)	100	99	29	
	成果指標	カワゲラウォッチングの参加者数	人	目標値	60	60	60	60
				実績(見込)	73	60	91	
	算出根拠等			達成率(%)	122	100	152	
	成果指標	騒音、振動、悪臭苦情の解決件数	回	目標値	41	62		
				実績(見込)	37	58		
	算出根拠等 解決件数 / (相談件数 + 未解決件数)			達成率(%)	90	94		
	成果指標	グリーンマーケット参加者	人	目標値	2,000	2,200	2,200	2,200
実績(見込)				2,000	2,000	700		
算出根拠等			達成率(%)	100	91	32		
成果指標	クリーン作戦参加者		目標値	220	220	220	220	
			実績(見込)	120	150	100		
算出根拠等			達成率(%)	55	68	45		
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害苦情の件数が増加傾向にある。特に水質汚濁に関する苦情件数が半数近くを占めていることから、水質(油漏れや水泡の発生)に係る啓発活動を実施する必要がある。</li> <li>水質汚濁防止啓発活動のカワゲラウォッチングは、岐阜県と市の双方で実施しているが、県が学校での実施のみを対象としていることから、市の事業は継続することし委託化を検討する。</li> </ul>
----------------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害防止に対する市民の意識向上のため、啓発を実施するとともに、公害苦情に対し、関係機関と連携し、適切な対応をとる。</li> <li>水質汚濁防止啓発活動の実施。</li> <li>快適環境づくり市民会議によるグリーンマーケット、クリーン作戦を実施する。</li> <li>観光客等へポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の周知啓発に努める。</li> </ul>	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害防止の効果的な啓発活動を実施すること、及び発生した公害をより迅速に、また、被害最小限となるよう関係機関との連携を強化する。</li> <li>公害発生未然防止啓発活動を強化する。</li> <li>長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。</li> </ul>	
拡大		
縮小		
○ 廃止検討		

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,397	7,782	2,870	5,270
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	15	84	31	58
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>悪臭水質等環境調査の実施</li> <li>土壌中放射性物質調査の委託</li> <li>河川水質調査の委託</li> <li>高山市快適環境づくり市民会議の事務局運営</li> <li>ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発</li> </ul>	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌中放射性物質調査、河川水質調査、カワゲラウォッチングの開催</li> <li>高山市快適環境づくり市民会議による環境関連イベントの実施</li> </ul>	事業実施の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害等発生抑制の啓発</li> </ul>
------	--	-------------	---	-------------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,870	5,270	2,400	3,990	3,990	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	320	378	58	285	285		
	その他			0				
	一般財源	2,550	4,892	2,342	3,705	3,705		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	審議			款	4	衛生費		分野	2	環境・景観	実施計画事業	ごみ収集事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線 2960	項	2	清掃費	基本施策	2	生活環境	H27実施計画額	千円		
	目	2		塵芥処理費	5	ごみの適正処理							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの出し方と分別及び資源化の啓発</li> <li>・ごみ処理券回収奨励金の交付</li> <li>・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施する。</li> <li>・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施する。</li> <li>・不適正処理(不法投棄、違反ごみ等)対策を実施する。</li> </ul>
	対象者数	91,605 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの出し方と分別及び資源化の啓発</li> <li>・ごみ処理券回収奨励金の交付</li> <li>・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬</li> <li>・ごみステーション違反ごみの回収</li> <li>・不法投棄対策(ハトロール、通報による出動等)の実施</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	ステーションごみ収集日数	日	目標値	256	257	258	259
	実績(見込)		256	257	258		
活動指標	不法投棄監視ハトロール日数	日	目標値	50	20	20	20
	実績(見込)		70	30	40		
成果指標	家庭系一般廃棄物収集量	t	目標値	18,302	18,268	18,237	18,208
	実績(見込)		18,543	18,491	18,269		
成果指標	ごみの分け方・出し方の啓発	回	目標値	12	12	12	12
	実績(見込)		14	10	12		
成果指標	家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	g/人・日	目標値	468	467	466	468
	実績(見込)		461	470	469		
成果指標	ごみ処理券回収枚数	枚	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000
	実績(見込)		365,780	345,053	343,545		

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続し実施する必要がある。</li> </ul>
----------------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託事業者収集時のパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止の実施。</li> <li>・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方を周知啓発の実施。</li> </ul>	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	276,860	271,152	286,770	309,541
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,981	2,944	3,131	3,379
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別と出し方の啓発</li> <li>・ごみ処理券回収奨励金の交付</li> <li>・民間委託による市内全域の可燃ごみ・不燃ごみ・小型家電・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬業務</li> <li>・ごみステーション違反ごみの回収</li> <li>・不適正処理対策(ハトロール、通報による出動等)の実施</li> </ul>	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理実施計画を策定し収集運搬を実施する</li> </ul>	事業 実施 の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭からの可燃ごみの減量対策</li> <li>・さらなる不適正処理対策(委託事業者収集時のパトロールの実施、警察関係部署との連携強化)</li> <li>・委託業務見直しの検討(収集エリア、収集量における収集コストの検証)</li> </ul>
------	--	-------------	--	---------------------	---

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	302,620	309,541	6,921	302,620	302,620	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	18,690	16,292	△ 2,398	19,190	19,190		
一般財源	283,930	293,249	9,319	283,430	283,430		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	会計	1	一般会計	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			4	衛生費		2	環境・景観		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2	清掃費	基本施策	2	生活環境	H27実施計画額		千円
				2960	2		塵芥処理費	5		ごみの適正処理	

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・安全で適正なごみ焼却処理の実施。 ・焼却施設の保守点検及び設備の更新等適正に維持管理を行い安全に稼働させる。	概要	事業の実施手法(手段)	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。 ・長期修繕計画に基づき、資源リサイクルセンター及び久々野クリーンセンターごみ焼却施設の定期点検整備を実施する
	対象者数	91,605 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの焼却処理及び維持管理の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)</li> <li>・設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を実施</li> <li>・荒城クリーンセンター焼却施設の解体と廃止</li> <li>・ごみ焼却施設の定期点検整備の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)	日	目標値	341	331	335	335
			実績(見込)	342	336	340	
活動指標	ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター)	日	目標値	100	80	80	80
			実績(見込)	115	85	85	
成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター-排ガス)	ng/m <sup>3</sup>	目標値	1以下	1以下	1以下	1以下
			実績(見込)	0.16	0.0054	0.06	
成果指標	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター-排ガス)	ng/m <sup>3</sup>	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下
			実績(見込)	0.24	0.04	0.04	
補足	ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。						

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・老朽化した焼却施設の能力及び安全な稼働を維持する必要がある。
--------------------------	---------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・老朽化した施設の安全な稼働のため、法定点検の実施と定期点検整備を実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	老朽化した施設の安全な稼働のため、法定点検の実施と定期点検整備を実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	187,295	283,525	263,407	231,699
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,017	3,079	2,875	2,529
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直営によるごみ焼却施設の維持管理の実施</li> <li>・設備の点検及びダイオキシン類などの調査の実施</li> <li>・ごみ焼却施設の保守点検</li> </ul>	要求のポイント	・長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト削減に向けての取り組み(施設の統廃合の検討)</li> <li>・設備更新による効果の検証と維持計画の見直しによる施設の適正な維持管理</li> </ul>
------	---	---------	----------------------	---------	---

事業費(人件費除)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		264,907	231,699	△ 33,208	192,629	192,629	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	78,970	90,343	11,373	86,320	86,320		
	一般財源	185,937	141,356	△ 44,581	106,309	106,309		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	2	環境・景観	実施計画事業	ごみ埋立処理事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	項	2	清掃費	H27実施計画額	基本施策	2	生活環境	千円		
	2960		目	2	塵芥処理費	施策		5	ごみの適正処理				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止による安全な埋立処理	概要	事業の実施手法(手段)	・廃棄物の埋立処理事業を実施する ・汚水処理施設の維持管理を実施する
	対象者数	91,605 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施</li> <li>設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を実施</li> </ul>							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	埋立作業日数	日	目標値	308	309	309	313
				実績(見込)	308	309	312	
	成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	100	101	
				目標値	10以下	10以下	10以下	10
	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100	
				実績(見込)	0.0045	0.0057	0.0057	
	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100	
				実績(見込)	0.020	0.0047	0.0047	
	補足	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100	
				実績(見込)	0.018	0.000	0.000	
	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立地処理水)		pg/l	目標値	10以下	10以下	10以下	10
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100		
ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第2次埋立地処理水)		pg/l	目標値	10以下	10以下	10以下	10	
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100		
ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター埋立地処理水)		pg/l	目標値	10以下	10以下	10以下	10	
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	100	100		
ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。								

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・埋立処理地浸出水の適正な処理と、埋立処分地の延命化が必要。
--------------------------	--------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理の実施。</li> <li>事業者に対する埋立てごみの搬入制限や破砕機による可燃性粗大ごみの焼却処理により埋立ごみを減量し、埋立てごみは破砕機で細分化し十分な転圧を行う。</li> </ul>		
次年度の実施方針	○維持・改善	拡大	・埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理の実施。
	○維持・改善	縮小	・事業者に対する埋立てごみの搬入制限や破砕機による可燃性粗大ごみの焼却処理により埋立ごみを減量し、埋立てごみは破砕機で細分化し十分な転圧を行う。
	○維持・改善	廃止検討	
	○維持・改善	二次評価	拡大 縮小 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	40,214	38,042	45,040	108,313
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	433	413	492	1,182
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施</li> <li>設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査の実施</li> <li>埋立処分地残容量の測定</li> <li>悪臭等の環境測定</li> <li>雨水対策工事の実施</li> </ul>	要求のポイント	・埋立関連施設改修	事業実施の課題	・埋立処分地の延命化対策(埋立廃棄物の破砕による減容)
------	---	---------	-----------	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		45,040	108,313	63,273	56,340	56,340	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	36,831	26,988	△ 9,843	26,012	26,012		
	一般財源	8,209	81,325	73,116	30,328	30,328		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	42240	資源化推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	2		環境・景観	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線 2960	項	2	清掃費	基本施策	2	生活環境	H27実施計画額	千円	
	目	2		塵芥処理費	施策	4		循環型社会の構築				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る</li> <li>資源の循環により循環型社会の形成を図る</li> <li>発泡スチロール・プラスチック製容器包装・紙製容器包装の再資源化</li> <li>排出された粗大ごみを再利用しごみの減量化を図る</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置補助の交付</li> <li>ごみの出し方と分別、及び資源化の啓発</li> <li>容器包装及びその他資源化できるごみの集団回収への奨励</li> <li>資源ごみの収集運搬選別及びリサイクル施設の選別</li> <li>粗大ごみのリフォーム、リフォームフェアの開催</li> </ul>
対象者数	91,605 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置補助の交付、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発</li> <li>小型家電の回収を試行(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンターへの持ち込み回収)</li> <li>収集したごみの選別・圧縮・減容等による資源化、拠点集積所管理</li> <li>資源回収事業での奨励金 85団体</li> <li>リフォーム製品フェアの開催(支所開催含む) 19回</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	拠点集積所での回収日	日	目標値	52	52	52	52
	算出根拠等	分別収集計画	実績(見込)	52	52	52	
成果指標	集団資源回収での回収量	t	目標値	2,644	2,639	2,635	2,038
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	2,317	2,102	2,147	
成果指標	拠点集積所での回収量	t	目標値	2,472	2,468	2,463	2,432
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	2,744	2,721	2,478	
成果指標	資源ごみ資源化量	t	目標値	3,741	3,729	3,719	3,202
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	3,289	3,239	3,244	
成果指標	家庭ごみの資源化率	%	目標値	31.4	30.4	30.3	30.0
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績(見込)	31.4	30.4	30.3	
活動指標	リフォームフェア開催回数	回	目標値	20	20	20	
	算出根拠等		実績(見込)	20	19		
補足	達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置補助件数が減少しているため、装置の効果を啓発することが必要である。</li> <li>家庭ごみの収集量などが減少しないため、減量に繋がる分け方・出し方に対する啓発が必要である。</li> <li>集団資源回収量や資源化率が減少しているため、小型家電の分別収集を含め資源の再生利用の啓発を継続して実施する必要がある。</li> <li>プラスチック製容器包装に発泡スチロールのトレイなどが分別されず混入していることがあるため、継続した分別の啓発が必要。</li> <li>排出されたごみからのリフォームは種類、数量に限りがあるため拡大する必要がある。</li> <li>粗大ごみとならないよう、再利用や有効利用を啓発する必要がある。</li> </ul>
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報などによりごみの分け方の啓発を行う。</li> <li>小型家電の全品目の分別収集や資源の再生利用、有効利用のための分別の啓発を実施し適正な資源化を行う。</li> <li>不燃ごみから鉄類など選別し資源化を徹底する。</li> <li>資源の再生利用のため分別を啓発し適正な資源化を行う。</li> <li>全支所地域でリフォーム製品フェアを開催し事業活動を広げてゆくとともに、本庁などで事前に見本展示することにより再使用の啓発を強化する。</li> <li>ボランティア団体の支援によりリフォーム製品を増やし利用者の拡大を図る。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型家電の全品目の分別収集や資源の再生利用、有効利用のための分別の啓発を実施し適正な資源化を行う。</li> <li>不燃ごみから鉄類など選別し資源化を徹底する。</li> <li>資源の再生利用のため分別を啓発し適正な資源化を行う。</li> <li>全支所地域でリフォーム製品フェアを開催し事業活動を広げてゆくとともに、本庁などで事前に見本展示することにより再使用の啓発を強化する。</li> <li>ボランティア団体の支援によりリフォーム製品を増やし利用者の拡大を図る。</li> </ul>
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
○拡大		
○縮小		
○廃止検討		

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	163,774	176,773	192,503
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,764	1,919	2,101
	受益者	市民(4月1日)	(B)	92,861	92,097	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置に対する助成</li> <li>ごみの分別と資源化の啓発</li> <li>廃棄物の選別回収、資源化処理業務</li> <li>拠点集積所管理業務</li> <li>資源回収事業に対する奨励金</li> <li>粗大ごみの再利用によるごみの減量化</li> <li>リフォーム製品フェアの開催</li> <li>資源リサイクルセンターの安全管理を行うための夜間警備委託</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置促進</li> <li>日常生活から出される資源ごみの再資源化にかかる経費を計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民、集団資源回収団体への啓発を徹底する</li> <li>PL法(製造物責任法)を遵守した自転車リフォームの検討</li> <li>ごみ処理施設の安全と、適正な管理運営を維持する</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	175,153	191,248	16,095	167,588	167,588	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	10	7	△3	10	10		
	その他	18,060	18,281	221	19,400	19,550		
	一般財源	157,083	172,960	15,877	148,178	148,028		

# 平成27年度 事業別予算概要

事業名	42260	ごみ処理施設建設事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	環境と調和した地球にやさしいまち	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
	種別			款	4	衛生費		分野	2	環境・景観		実施計画事業	
担当課	環境政策部 生活環境課		内線 2960	項	2	清掃費	基本施策	基本施策	2	生活環境	H27実施計画額	千円	
	目	2		塵芥処理費	施策	5		ごみの適正処理					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	新ごみ処理施設を建設する。	概要	事業の実施手法(手段)	建設候補地の決定後、地質調査・環境影響調査業務、建設検討委員会の設置及び各種手続き等を経て、新ごみ焼却施設を建設する。
	対象者数	91,605 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	新ごみ処理施設候補地選定 新ごみ処理施設に関する地元説明会開催(H26.1月~2月)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	・検討委員会の設置 ・整備に向けた環境調査							

## 3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・現有施設が老朽化しているため、新施設を早期に建設する必要がある。
--------------------------	-----------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	地元の同意を得られるよう、地元説明会を継続して開催する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・地元住民の理解を得た上で、新ごみ処理施設建設を進める。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,455	0	5,410	64,946
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 37	0	59	709
	受益者 市民(4月1日)	(B) 92,861	92,097	91,605	91,605

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・新ごみ処理施設建設に係る基本設計、生活環境影響調査等 ・建設検討委員会の開催	要求のポイント	・新ごみ処理施設建設に向けた環境調査等の実施	事業実施の課題
------	--	---------	------------------------	---------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,410	64,946	59,536	0	0	・建設候補地地元町内会と協議中であるため、予算計上を見送る	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	5,410	64,946	59,536	0	0		